



■～超音波検査について～

超音波検査について

●超音波室では検査について皆さんから寄せられるさまざまな質問にお答えしていきます。



☆超音波ってなに？

一般的に、周波数が高く人間の耳では聞くことが出来ない音です。イルカやコウモリがコミュニケーションで使う音とされています。

☆超音波の検査で何を見ているの？

赤ちゃんがきちんと成長しているのか大きさを測ります。また、羊水がきちんとあるかどうかを調べ、赤ちゃんがお腹の中で元気に過ごしているかを見ています。

☆赤ちゃんの性別は分かるの？

ご希望があった場合、当院では妊娠週数22週以降から、性別をお調べしています。赤ちゃんの向きや位置によっては、判断が出来ない場合があるのでご了承ください。

☆家族は一緒に見られるの？

超音波室での検査はご家族の方も見る事が出来ます。上のお子さんなども一緒に見られますので、ぜひ一緒にご覧下さい。超音波写真も数枚お渡ししております。

☆超音波をあてても、赤ちゃんは大丈夫？

超音波検査は、甲状腺や腹部などの検査で行われ、レントゲンなどの他の検査に比べ体への影響が少ないことから赤ちゃんの検査でも行うことが出来ます。

☆どうやって画像にするの？

直接皮膚に当てる電子機器(プローブ)から、超音波を出すと、骨、筋肉、脂肪など性質の異なる物質の境界からは、それぞれの物質に応じた反射波が形成されます。この反射波の強弱を白から黒までの色に表します。このようにして画像をつくります。

☆超音波の検査(経腹)ってどうやるの？

超音波室で行う検査の場合、へそより上の部分にかかる着衣は少し上にあげ、ズボンやスカート・下着は恥骨付近まで下げ、仰向けに寝た状態で行います。超音波用のゼリーを皮膚面に塗り、超音波を送信するプローブという器具を腹部に当てながら、生体内から跳ね返ってくる超音波を受信し、モニター上に画像を写し赤ちゃんなどの様子を観察します。赤ちゃんは、おしゃぶりしたり、あくびをしたり、眠っていたりと、お母さんのお腹の中で自由に過ごしています。

担当:放射線科